



進めよう ともに
福祉の町づくり

福祉

2025

なちかつうら

2025

1

社会福祉法人 那智勝浦町社会福祉協議会

〒649-5331 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満1418番地2（那智勝浦町福祉健康センター内）

TEL:0735-52-5252/FAX:0735-52-3700/E-mail: nachikatsushakyo5252@train.ocn.ne.jp



那智勝浦町社会福祉協議会
会長 岡崎 晴賀

年頭のご挨拶

令和7年の新春を迎えるにあたり、社会福祉協議会（以下、社協）を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。

平素は、地域福祉事業推進のため、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日に発生した石川県能登地方を震源とする地震により各地に甚大な被害が生じ、日本中が大きな衝撃と悲しみにつつまれました。近年では地震や台風、豪雨による災害が頻繁化、大規模化、広域化しており、当地方においても平成23年、台風12号による大雨により多くの尊い命が犠牲となる甚大な被害が発生しました。また今後南海トラフ巨大地震が起る可能性が高まっており、大規模災害に備えた支援体制の整備を進めることが、これまで以上に重要な課題となっております。災害による被害を減らすには、日頃からの備えはもちろん、地域のつながりが大切です。当社協の事業においても、いきいきサロン事業や食事サービス事業、福祉健康まつりなど、福祉委員の皆様や世話人の方々の始め、地域の方々のお力添えのもと、地域の中でつながり、支え合い続ける活動をしています。そして社協会費や共同募金運動に対しても温かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。今後より一層地域に根差した事業を展開してまいりますので、皆様のご支援とご協力を頂きたい、心よりお願い申し上げます。

私どもは設立以来の理念であります、この町に住んでよかったと思えるまちづくりを目指し、皆様と共に推進していきます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。そして、新年の挨拶といたします。

ふ だんのく らしのし あわせをつくる 学び

福祉体験学習

11月13日に市野々小学校、11月20日に色川小学校で那智勝浦町社協と高瀬会・湯ごりの郷の介護職員が、3・4年生を対象に車いす体験と高齢者疑似体験を行いました。今回、高齢者について理解を深めるとともに、高齢者を尊重する意欲や態度を育む・自分たちにできる事について考え、思いやりや助け合いの心を育てるといった目的で実施しました。子ども達からは「車いすに乗った時、後ろから声をかけてもらって少し安心しました」「（車いすに乗って）バックでスロープを下りるのが怖かった」「車いすを押している時に、乗っている人の気持ちを分かってあげることが難しかった」「関節が曲がりにくいと、階段が上りにくかったし、細かい作業がやりにくくなるのが分かった」「歩く時に杖をつくとき歩きやすくなって杖の大切さが分かった」「私の住んでいる地区にも高齢者の方がいるので、その人の気持ちが分かりました」などの感想があり、それぞれに驚きと気づきがあったようです。

市野々小学校



色川小学校



ホテル浦島

ホテル浦島様より、観光施設のさらなるバリアフリー対応とその情報発信を支援し、ご高齢の方や障がいのある方がより安全で快適な旅行をするための環境整備を推進する「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の継続・また車いす利用者様に対するサービス向上のためということで昨年に引き続き今年も依頼があり、11月27日に、那智勝浦町社協と高瀬会・湯ごりの郷の介護職員が、従業員23名を対象に車いす体験を行いました。二人一組になり、車いすを押してもらって狭い通路を進む、段差をこえる、スロープを上り下りするなど色々な動作を体験しました。車いす利用者を介助する時に何より大切なことは「相手を思いやる気持ち」で、車いすを押すお手伝いをするということは命を支えているということ。信頼関係が必要であるため介助する前には車いすを使われる方と目線を合わせて自己紹介を行うことや、段差の上り下りや曲がり角で曲がる時など声掛けを行うことが大切だということをお伝えしました。最後には、いすから車いすに移乗することも体験し、皆さん意欲的に取り組まれていました。この体験がさらなるサービス向上の一助になれば嬉しく思います。



那智勝浦町社会福祉協議会では、子供たちに福祉に触れる機会を持ち、福祉を身近に感じていただき、福祉のところで支え合う担い手の育成を目指して福祉体験学習を行っています。また企業や、地域の団体等への福祉体験も行っていますので、ご希望の学校、または地域の方は、那智勝浦町社会福祉協議会 ☎52-5252までご連絡ください。

いきいきサロンの様子

10月・11月に行われたいきいきサロンの様子を一部ご紹介します

10月15日、小阪区と南平野区合同で、脳トレやぬり絵カレンダー作成、羽根っこゲーム、なちかつストレッチを行いました。それぞれの地域が交流することでサロンの楽しみ方も増えています。



小阪区・南平野区

10月24日、那智勝浦町福祉課の島田氏による脳トレ体操となちかつストレッチを行いました。はじめはスムーズにできず皆さん大笑いでしたが、最後には皆さん完璧な動きに。全員で合唱も行い楽しい時間を過ごしました。



浦神西区

11月14日のサロンは、塗り絵カレンダーの作成、まちがい探し、スイングトスゲームをしました。その後も皆さんでおしゃべりをしながら喫茶を楽しみ、いつものような和やかな時間となりました。



大野区

11月15日、「マジックサークル青い鳥」の方にお越し頂き、マジックショーを鑑賞しました。皆さん「どんな仕掛けなのだろう」と不思議に感じながら、次から次に披露されるマジックに興味深々、楽しい時間を過ごしました。



市野々区

10月14日、講師に石橋さんをお迎えして、ペーパークイリングを作成しました。初めて体験する方もおりましたが、皆さんとても素敵な作品に仕上がりました。11月30日・12月1日に行われた町展に、庄区とさくら会の作品が展示されました。



さくら会



町展
さくら会
庄区



中ノ川区



11月27日のサロンは、点鳥ルーレットを使ったゲームで楽しみました。ルーレットの出た目にチョコや、クッキー、キャンディーを置き、当たったものが貰えるというゲーム。やはり食べ物は強し。大変盛り上がりしました。その他ぬり絵や、脳トレなどをしてみんなで和気あいあいとおやつタイムを楽しみました。



令和6年度東牟婁老人クラブ 親善グラウンドゴルフ大会が開催されました!!

11月6日、潮岬青少年の家にて、令和6年度 東牟婁老人クラブ親善グラウンドゴルフ大会が開催されました。那智勝浦町老人クラブ連合会の会員ら40名が参加しました。グラウンド・ゴルフを通じて会員の健康づくりと、会員同士の交流・親睦をはかることを目的として開催され、東牟婁郡・新宮市合わせて約190名の参加者が、8ホール×3ラウンド合計24ホールをまわり、優勝目指してプレーしました。今年は11月でも暖かい日が続き、この日は天候にも恵まれ、さわやかな秋空のもとプレーを楽しむことができ、また大会を通じて親睦を深めることもできました。



老人クラブ × 小学校 交流会

11月22日、太田地区老人クラブ連合会の会員と太田小学校3・4・5・6年生が、太田の郷グラウンドにて、合同グラウンドゴルフ大会を行いました。児童たちは老人クラブの会員より、コツを教わりながらプレーを楽しみました。また11月26日、市野々老人クラブ光峰会の会員と市野々小学校3・4年生が、市野々小学校にて、ストラックアウトやスカットボール等のゲームと一緒に楽しみました。現在、核家族化や、児童数の減少などによって、近所同士のつながりや世代間交流が希薄化しています。高齢者と子どもたちが同じ活動を通して交流することで、子どもたちの豊かな育ちや学びを支えるとともに、高齢者の健康や生きがいにもつながります。今後もこのような活動を通して、世代間の結びつきや地域でのつながりを強めてほしいと思います。

市野々小学校

太田小学校



居宅介護支援事業所

〈 ケアマネの役割 〉

- ・要介護認定の申請代行
- ・ケアプランの作成
- ・介護サービス事業所との連絡調整
- ・介護に関わる各種手続き など



介護に関すること
お気軽にご相談下さい！
TEL.0735-52-9111

訪問介護事業所

介護についてお困りの方はぜひご相談ください。ホームヘルパーがお手伝いをさせていただきます。例えば、入浴・排泄・服薬衣類の着脱などの介助掃除・洗濯・調理・買い物 など



ホームヘルパーも募集しております。
詳しくは那智勝浦町社会福祉協議会
TEL.0735-52-5252までご連絡ください。

最新の情報は、那智勝浦町社会福祉協議会のホームページでも公開しておりますので、ぜひご覧ください

<https://www.nachikatsu-syakyo.or.jp/>

この広報誌は、
赤い羽根共同募金を
活用して作成しています